

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年3月28日

アンケート期間:令和2年2月12日~令和2年2月29日

事業所名 リブレイン

保護者等数(児童数)

回収数 23

割合 85%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	95%			5%	細かい配置はわかりません	基本的に管理者兼児発管:1名、児童指導員2名が運営上義務付けられております。当事業所では、毎利用日にそれに加えた加算人員(専門職)を配置しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	95%	5%				
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※iが作成されているか	100%					
	5 活動プログラム※iiが固定化しないよう工夫されているか	95%			5%		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13%	30%	17%	39%	難しいと思います。放課後児童クラブなど周囲からの理解も必要なため。長期休暇中くらいはあっても良いのではないかな	保護者様のご意見にもあるように肢体不自由児や病弱時の安全面を考慮すると難しい面も多く、実現しにくいのが現状ですが、地域の公園に出かけたり、市の夏祭りに参加するなどのレク活動にて交流を図れるよう努めて参ります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95%	5%			動画の説明でほかの子の声で聞こえないことがある	子どもたちの集団活動中での動画ですので、タイミングを合わせることで難しいときもありますが、配慮してまいります。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%				LINEでのやり取りであるため気になることや気づいたことの連絡ができるのでやりやすい	ありがとうございます。不明点など、すぐに解決できるよう、やり取りしやすいLINEを是非ご活用ください。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				成長期で変化が大きいので可能なら年2回にしてほしい	年に1回の定期面談に加え、面談が必要な事案や保護者様からの要望に応じて随時面談を行っております。ご要望をお聞かせいただければ、調整させていただきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	47%	17%	21%	13%	父母の会があるのか知らない	父母の会という名ではありませんが、今年度より保護者向けセミナーの開催を始めました。保護者様同士の交流を始め、専門家からの講習会や情報共有の場としています。ぜひ、多くの保護者様にご参加いただきたいです。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	47%	21%	0%	30%	苦情がでているのか知らない	有り難いことに、苦情は現在のところ上がってきておりません。しかし、細かなご指摘に関しては、保護者様とやり取りをして、現場スタッフと共有し支援に反映しております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	95%	5%				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	91%	9%			可能なら特別なレクなどは月単位で知りたい	リブレインたよりやホームページで定期的に活動内容を会報しています。レクの予定については、病弱児が多く通う当事業所では日々直前まで体調に合わせて内容調整を加えることがあるため、詳細の内容提示は難しいのですが、クラフトなのか料理なのか程度のジャンルを事前に公表できないか、検討してまいります。
14 個人情報に十分注意しているか	85%	5%		10%			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	90%	5%		5%		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	56%	21%		21%	避難訓練があるのか知らない。実際に災害が起きた時に近隣の人の助けが必要になるかもしれないため自治会など伝って訓練に参加できるとよいのでは	避難訓練は年に2回職員と避難訓練日利用の児童で行っております。利用日にあたらぬ方にはリブレインたよりで活動報告をしております。ご近所の方との合同訓練は今後検討してまいります。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	95%			5%		
	18 事業所の支援に満足しているか	100%				利用時間を始業式・終業式は長くしてほしい	働き方改革など、職員の労働条件の確保も必要な中、肢体不自由児・病弱児の安全を考慮し、当事業所は厚生労働省規定の人員配置に加えた過剰な人員配置の設定を心掛けています。開所時間を増やすとギリギリの人員配置設定に近づくと可能性ががあります。今後、人材の確保が余剰状態になれば検討してまいります。

※i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。